



発行 /

松山東雲学園同窓会

〒790-8541 松山市大街道3丁目2-24
TEL: 089-941-4140 FAX: 089-948-4147

E-mail: yukibira@shinonome.ac.jp
郵便振替: 01660-1-93707

印刷 /

(株)松栄印刷所



会 長 挨 拶



松山東雲学園
同窓会

会長 沖 尚 子

松山東雲学園同窓生の皆様には、日頃より同窓会活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、6月20日の総会において同窓会会長に選任いただきました高校29回卒業の沖尚子です。歴史と伝統ある松山東雲学園同窓会の会長という大役をお預かりすることとなり、その責任の重さを感じるとともに、皆様と力を合わせて同窓会活動をより充実したものにしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度、松山東雲学園は創立140周年という大きな節目を迎えます。この記念すべき年を迎えられましたのは、長年にわたり学園を支えてこられた諸先輩方、教職員の皆様、そして卒業生一人ひとりのご尽力の賜物であり、心より敬意と感謝を申し上げます。

松山東雲学園は、1886年の創立以来、キリスト教の精

神に基づく女子教育を実践し、「信仰・希望・愛」を教育の根幹として歩み続けてまいりました。一人ひとりがかけがえのない存在であることを大切にし、知性と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる人材を送り出してきた学園の建学の精神は、140年を迎えた今もなお変わることなく受け継がれています。

社会は大きく変化し、同窓会の活動や会員相互のつながり方も時代に合わせた工夫が求められています。その一方で、母校を大切に思う気持ちや卒業生同士の絆は、いつの時代も変わることのない財産です。同窓会では、会員の皆様が母校とのつながりを感じられるような活動を続けるとともに、学園の発展を支え、次の世代へその歴史と伝統をつないでまいりたいと考えております。

創立140周年は、新たな未来への第一歩でもあります。この節目を機に、卒業生の皆様が世代を超えて交流し、母校への思いを分かち合える機会をさらに広げてまいります。皆様には、今後とも同窓会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

会長挨拶	1
活動報告	2
同窓会事業報告・決算報告書	4

支部だより	5
同窓生はいま	6
ご案内・「校門の言葉」	7

同窓会事業案内	8
---------	---

活 動 報 告

2026年5月23日(土)幹事会、6月20日(土)に総会が、丸木公介理事長、水代仁学長、三浦裕治教頭、武田眞弓美東京支部長、佐々木佳代子関西支部長、岡田温子今治支部長とともに出席者総数65名で開催されました。2025年度事業報告、決算・監査報告、2026年度事業計画案、予算案、規約改正、新役員・監査選出について審議され承認され

ました。規約改正では、学園の寄附行為の変更にとまない評議員について5名が2名、25歳以上が制限なしとなりました。懇親会では、水代眞奈さん(高校52回、大國文4回)の三味線演奏を楽しみました。月曜・水曜手芸の皆さんの手作り品の販売が行われ、喜ばれました。



2025年11月3日(月・祝)
お山のバザー



2025年11月26日(水)
学園へ寄付金贈呈



2025年12月6日(土)
クリスマスの集い





2025年12月9日(火)
「雪びら」奨学金授与式



2026年1月11日(日)
成人式



2026年3月7日(土)
新卒幹事交流会

❁ 新卒幹事紹介

◇ 岩城 茉結子	高校77回	◇ 高橋 アンナ	短大保育59回
◇ 河野 さくら	高校77回	◇ 水沼 奏愛	短大保育59回
◇ 神山 実乃里	高校77回	◇ 渡部 愛	短大現ビ41回
◇ 只信 佑奈	高校77回	◇ 藤森 梨乃	短大現ビ41回
◇ 辰巳 ころこ	高校77回	◇ 伊豆 元望心	短大食栄38回
◇ 花村 紗也佳	高校77回	◇ 瀬戸 丸麻風	短大食栄38回
◇ 丸山 怜那	高校77回	◇ 山田 朱璃	大学心子17回
◇ 三ツ井 梢	高校77回	◇ 長田 裕実	大学心子17回
		◇ 越智 沙莉果	大学心福17回
		◇ 村上 琉奈	大学心福17回



2026年5月23日(土)
幹事会



2026年6月20日(土)
総会



同窓会事業報告・決算報告書

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

2025年度 事業報告

月	日	曜	事業実施概要	備 考
4	21	月	会計監査	同窓会室
5	10	土	臨時幹事会	松山・二番町ホール
5	31	土	総会	桑原キャンパス
6	2	月	東京支部会	東京・椿山荘
9	1	月	「雪びら」発行	第83号
9	6	土	バザー準備委員会	同窓会室
11	3	月	お山のバザー	100周年記念館駐車場
11	8・9	土日	東雲祭	桑原キャンパス
12	5	金	関西支部会	京都・ソウドウ東山
12	6	土	クリスマスの集い	桑原キャンパス
12	9	火	「雪びら」奨学金授与式	短大・女子大
1	11	日	松山東雲中学・高等学校 卒業生成人式	高校
3	1	日	卒業式・記念品贈呈	高校
3	7	土	新卒幹事交流会	松山・すし丸
3	13	金	卒業式・記念品贈呈	短大・女子大

2025年度 収支決算報告書

収 入		支 出	
会 費	3,003,500	学園寄付金	500,000
事 業 収 入	987,163	助成金・奨学金	500,000
受 取 利 息	5,990	基 金	0
維持会費・寄付金収入	908,000	記 念 品 費	262,980
雑 収 入	45,867	慶 弔 費	0
前年度からの繰越金	4,744,851	会 議 費	68,000
		事 業 費	56,800
		通信運搬費	1,939,570
		印刷製本費	1,750,028
		名簿管理費	110,000
		旅費交通費	59,420
		事 務 費	122,763
		備 品 費	420,750
		予 備 費	0
		次年度へ繰越金	3,905,060
合 計	9,695,371	合 計	9,695,371

役員会：毎月1回土曜日開催

2026年度 同窓会役員一覧

	氏 名	幹事所属学校
会 長	沖 尚 子	高校29回
副会長	中 山 加久子	高校20回
	松 本 由 美	短大保育12回
事 業	二 神 秀 美	短大保育 3 回
	大 政 知 子	短大家政13回
	大 西 真知子	高校20回
	兼 久 佳 子	高校20回
	中 尾 祝 子	高校36回
書 記	仙 波 美加子	短大保育17回
	宮 崎 絢 佳	短大保育47回
会 計	宮 田 恵 子	短大食栄17回
	門 多 規 子	高校28回
総 務	立 花 仁 美	短大家政13回
	藤 野 洋 子	高校23回
	矢 野 千恵香	高校23回
広 報	河 上 和 子	高校19回
	吉 川 陽 子	高校38回
監 査	篠 崎 英 代	高校19回
	菅 田 栄 子	短大保育 2 回



維持会費のお願い

あなたも東雲の仲間の一人です。

東雲の^{ともしび}灯火を次代につなぐために、
貴女の力と、知恵をおかしてください。

維持会費 1 □ 1,000円～
(お一人様何口でも可)



会費の使い道

- 入学助成金
- 雪びら奨学金
- 学園の施設整備補助
- 明るく、楽しい学園生活のお手伝い
- 同窓会活動費用 など

応援していただけると幸いです。

郵便振替：01660-1-93707

2025年度も維持会費にご協力いただきありがとうございます
ございました。

学園への寄付金・奨学金・助成金などに用いさせて
いただきました。

支 部 だ よ り

❀ 今 治 支 部

支部長 岡田温子（高校17回生）

毎年11月3日のお山のバザーに有志で今治タオルをお届けしています。人気があり買ってくださる方がおられるようで、うれしく思います。支部会開催の時にはご案内をいたします。よろしく願いいたします。

連絡先：0898-22-2573・090-7145-2199

❀ 宇 和 島 支 部

支部長 濱田チヅル（旧姓：毛利）（短大保育18回生）

支部会の開催がなかなかできず申し訳なく思っております。開催できるようになりましたらご連絡いたしますので、その際はよろしく願いいたします。

連絡先：0895-24-4777・090-9554-0821

❀ 高 知 支 部

支部長 濱田里香（短大生活5回生）

支部会を開催することができますよう皆様のご意見を待ちしております。よろしく願いいたします。

連絡先：090-2787-2366

❀ 東 京 支 部

支部長 武田眞弓美（短大食物14回生）

2026年6月1日(月)松山より菅田栄子同窓会会長をお迎えし、椿山荘にて総勢17名で同窓会を無事開催することができました。ご出席いただきました同窓生の皆様と共に、楽しい時間を過ごす事が出来たことを感謝申し上げます。

通信費の高騰もあり、皆様への同窓会開催のご連絡方法を次回より少しずつ変更させていただきたいと思えます。また、一人でも多くの関東近辺におられる同窓生とご連絡を取りたいと思えます。皆様、お力をお貸し下さい。

2027年6月7日(月)11時半より椿山荘にて同窓会を開催いたします。どうぞご予約に加えてください。

連絡先：03-5819-8363・090-5345-7855

yystm-mayumi@nifty.com



2025年6月2日



2026年6月1日

❀ 関 西 支 部

支部長 佐々木佳代子（高校34回・短大保育18回生）

昨年はザ ソウドウ東山京都（竹内栖鳳 旧私邸）で同窓会を開催しました。

晩秋の京都は紅葉が美しく、この集いを彩ってくれました。初参加の方も数名ありました。これから何とか同窓会の裾野が広がるようにと思っています。

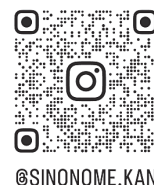
今年度は2026年10月23日(金)京都市中京区錦通室町西入の「膳處漢ぽっちり」で開催いたします。会費は8,000円、中国宮廷料理を京町家で楽しみましょう。

同窓の皆様と歓談できますよう、多数のご参加をお待ちしています。関西以外からの参加も大歓迎です。遠慮なくお問合せください。

連絡先：佐々木佳代子

電 話：090-1077-3515

※メッセージにてお願いします。



@SINONOME.KAN

下記の支部が閉じることになりました。長い間お世話になりました。またの発足をお待ちしています。

❀ 沖 縄 支 部

支部長 佐藤美輝（短大生活20回生）

この度、沖縄支部を閉じることになりました。またいつか、集まることを願っています。

連絡先：090-4471-3270

❀ 松 山 東 支 部

支部長 仙波敬子（高校22回・短大食物8回生）

支部も2005年4月から今年で20年になります。会員の高齢化と減少のため、今年で支部を閉じさせていただきます。長い間ありがとうございました。同窓会のますますのご発展をこころよりお祈り申し上げます。

同窓生はいま



藤川 佳美 (旧姓: 松山)
(高校38回・短大生活科学科生活環境1回生)

創立100周年の年に卒業し、気付けば創立140周年。100周年記念館がついこの間建ったかのように思いますが……月日の流れは早いものです。

卒業後もいつかまた東雲の坂を上りたいと思っていました。その願いが叶い、娘が入学。再び坂を上がることができ、その後もアレンジメント教室で年に一度上がらせていただいています。

現在、大街道にて Deux という小さな花屋を経営しております。高校時代に茶道・華道のお稽古に通っていましたが高校・短大生の頃は自分がフロリストになるとは思っていませんでした。今となっては花と向き合いお客様に寄り添い喜んでいただけるよう日々精進いたしております。

そんな私が現在いるのは高校時代に培った経験が原点となっています。

高校1年生の時、卒業生を送る会にてバンドで演奏させてもらいたいと当時のリーダーが先生に嘆願し、禁止されていたバンド活動を公認してもらったのは恐らく初めてだったのではないかと思います。翌年度からはクローバーデイで演奏するなど今となってはゼロからスタートして形にしていく良い経験・チャレンジをさせて

いただいたと先生方の懐の深さに心から感謝しています。

社会に出てから高校時代の個性豊かな同級生をはじめ、先輩・後輩と年齢を重ねても東雲の空気をを感じる同窓生にたくさん出会います。思えば、女性としての芯の強さ・個性の大切さを知らず知らずのうちに学ばせてもらったと感じています。

現在、子育ても一段落し、花の楽しさを広めるのは元より、花仕事をやりたい若い子達を育てていくフェーズに入ってきました。高校生の時に学んだ、個性を大切にしていける。をベースにあらゆることに挑戦する楽しさを次世代の子達に伝えていかなければいけないと考えています。

最後になりましたが、卒業生の多くの方々はまたいつか東雲の坂を上りたいと思っています。私は娘のおかげで願いが叶いましたが、そんな思いを持っている同窓生がたくさんいます。いつかそんな機会が訪れる日を夢見て……



佐々木光子 (旧姓: 森本)
(高校9回・短大7回)

中学在学時より、青野陽子先生^{あきこ}ご担当の美術クラブに所属し、絵画に出会いました。東雲の、仲の良い友人たちとともに、心ゆくまで絵を描き上げる楽しさに出会ったのが、私の創作の原点です。

カレッジを卒業後、松山を出て大阪で半生を過ごし、還暦を過ぎたころ自分の人生これからということで、ごく近所の絵画塾から再出発しました。次に移った京都市内のスクールで恩師・中原史雄先生の指導を仰ぐご縁に恵まれ、芸術公募展のひとつである二科展へ、2008年より出品してまいりました。

二科展の毎年の締め切りは8月下旬です。一年の一番暑い折に、ふうふうと100号サイズの油彩作品を複数枚仕上げて、出品して、選考を待ちます。前回作からさらに一歩踏み出して、何かしらの新しい工夫や描画上の発見が求められるように思います。

無事に入選を果たせば、9月の東京と11月の大阪で開かれる二科展に絵が展示されます。

年に一度のこの機会には、懐かしい友人や同窓の方と会場でお会いして、その後お茶をして、昔のこと今のこと、本当に楽しく尽きないおしゃべりをします。それが私の、何よりの活動の励みでもありました。

こうして気づけばあっという間に18年。なんと私も

今年86歳。幸いにも連続して入選を果たすことができ、2024年の第108回二科展で特選の栄誉を賜って、ようやく自身のこれまでの創作を振り返ってみたい気持ちになりました。絵画仲間や家族の力添えを得て、京都は四条烏丸近くのギャラリーにて、この秋に個展を開きます。もう実現には勢いあるのみという境地です！

絵を描くひとときは、ただカンヴァスと向き合って、色や線で表現する自分自身の自由な時間です。自発的な創作も「ああやらねばならない」となると途端に苦しくなるのが常ですが、今まで不思議とその気持ちになることはありませんでした。とくに色彩の追求は、私にとって、飽きることのない永遠の試みです。

秋の京都、ご観光などでいらっしゃる折には、どうぞお立ち寄りください。
(本人談より構成)



佐々木光子展

日時：2026年11月3日(火・祝)～8日(日)

11時～17時(最終日16時まで)

場所：綾小路ギャラリー武

140周年記念礼拝・記念講演会のご案内

私たちの母校、松山東雲学園は1886年（明治19年）に創設され本年140年を迎えます。これまでの歩みを感謝して140周年記念礼拝・記念講演会が下記のように行われます。学園より同窓生の皆さまにご案内をいただきましたのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 2026年11月10日（火） 9時30分～11時40分
2. 場 所 松山東雲女子大学、松山東雲短期大学チャペル（〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1）
3. 日 程
〔記念礼拝〕
・受 付 9:00～9:30
・入場開始 9:15～
・開 式 9:30～
〔記念講演〕
・受 付 10:00～10:20
・入場開始 10:10～
・記念講演 10:20～11:40
村上 香（宇佐美まこと）さん（高校27回生）

4. 申込み方法 礼拝の時、ハレルヤを合唱いたします。
合唱に参加を希望される同窓生は、2026年9月25日までに、
礼拝・講演会に参加を希望の方は、2026年10月9日までに、
氏名、郵便番号、住所、電話番号、卒業校を明記の上、郵送または
Fax もしくはメールにて下記同窓会宛にお申し込みください。

〒790-8541 松山市大街道3丁目2-24
Fax : 089-948-4147
E-mail : yukibira@shinonome.ac.jp



同窓生より70年前の雪びらが届きました。その中から論説の記事を紹介いたします。
同窓会も、この「校門の言葉」を心に留め、歩みたいと願っています。

「校門の言葉」

皆さんは毎朝校門に入る時、校門の両側に次の様な短い言葉が書かれているのをご存知でしょう。向って左側には、「高遠なる理想、敬虔なる信仰、真摯なる努力」とあり、右側には“Let only the Eager Thoughtful, Reverent enter here.”とあります。これは、「学園に学ぼうとする者は、高い理想をめざし敬虔な信仰を求め真摯な努力をつむためにこの門をくぐる。」と言う意味であります。

又皆さんが校門を出る時向って左側には、「清純なる愛情、私心なき奉仕」と書かれ、その間に十字架が印されてあります。そして右側には、“And go forth prepared to serve God and thy neighbors,”と書かれています。それは「この学園に学んだ者が深い信仰と広い学問を身につけ高潔な人格を養って世に出て、神と人々に仕える奉仕の精神を内に豊にして、この門を出てゆく。」と云う意味であります。二つの間に十字架があるのは、言葉の意味を更に明らかにし、クリスチヤンの精神を表わす為であります。

即ち、イエスが、ヨハネ伝十七章十九節の中で「彼らのために私自身を聖別する。」と言われた言葉には実に深い意味があるのです。自分の事を考えないで他人のために尽す、即ち私心のない奉仕は唯徒らに自分

の理想をすてゝ、身体を犠牲にするという意味ではなく、神から得た深い信仰の宝を捧げて人のために社会のために奉仕するという事であります。

こゝに書かれた英語と同じ様な言葉が、私の母校のポモナカレツヂの校門に書かれているのですが、校門を出る時の言葉はそれにもつと深い意義をもたせるために、ミセス・ジレットと私が今の様に変えたのであります。

ところが、丁度これと殆ど同じ意味をもつ校訓が西村先生のお父さんの四代目校長西村郁夫先生によって校訓としてつくられていた事を知り、ホイテ先生や他の先生方と相談した結果現在の様な校門が出来上つたのであります。

そこで皆さんは、一人一人が校訓に従つて自分の信仰を深め、真剣に学問を修め、高い人格の人となつて社会に出て、人のために奉仕出来る人となることが何より大切であります。

これで皆さんは、この校門に書かれている事の意味がよくお分りになつた事と思います。これからお互いにこの事を心にとめて、この校門をくぐりたいものと思います。

（昭和31年・「雪びら」第27号より）

同窓会事業案内

第95回お山のバザー

日 時：2026年11月3日(火・祝) 10:00～15:00
 会 場：100周年記念館駐車場・ロープウェー街
 ※【ご協力お願いします】
 準備及び販売のお手伝いについては同窓会までお問い合わせください。
 提供品：衣料品、余剰品、手作り作品など
 寄付金：郵便振替01660-1-93707
 宛先 松山東雲学園同窓会

一緒に楽しみませんか

手芸を楽しむ会・月曜日
 毎週月曜日 10:00～16:00
 100周年記念館 2F 同窓会室
 手芸を楽しむ会・水曜日
 毎週水曜日 10:30～15:00
 100周年記念館 2F 同窓会室
 讃美歌の集い
 毎月第1・3・5金曜日 13:30～15:30
 100周年記念館 2F 会議室
 みつばサークル(童謡)
 毎月第2・4水曜日 10:00～12:30
 100周年記念館 2F 会議室

【ハレルヤ】の練習会 ご案内!!

クリスマスの集い(12月5日に歌う)【ハレルヤ】の歌唱練習会を11月から始めます。練習日は下記の通りです。部分参加でもOKです。
 楽譜は、「讃美歌の集い」で用意いたします。是非、ご参加ください。
 日 時：2026年11月13日(金)、27日(金) 13:30～
 場 所：100周年記念館 2F 会議室(同窓会室隣)
 松山東雲学園同窓会「讃美歌の集い」
 連絡先：090-8971-9867 伊神美和子(SMS)

「クリスマスの集い」



日 時：2026年12月5日(土) 受付開始 10:30～
 クリスマス礼拝・祝会 11:00～12:30
 会 場：松山教会
 松山市味酒町2丁目7-1
 会 費：1,000円 茶菓代(当日お支払いください)
 申込〆切：2026年11月20日(金)
 ※申込方法は、下記枠外をご確認ください。



2027年松山東雲学園同窓会総会

日 時：2027年6月19日(土) 11:00～
 ・第1部 総会
 〈議題〉2026年度事業報告・決算報告・監査報告
 2027年度事業計画・予算案
 ・第2部 親睦会など
 会 場：久保豊二番町ホール
 松山市二番町3丁目8-2
 会 費：2,000円 食事代
 (当日お支払いください。但し総会前日以降のキャンセルは会費をご負担いただきます)
 申込〆切：2027年6月11日(金)
 ※申込方法は、下記枠外をご確認ください。

※同窓会事業へのお問い合わせ・お申し込みはこちらまで

〒790-8541 松山市大街道3丁目2-24
 Fax: 089-948-4147
 E-mail: yukibira@shinonome.ac.jp

「氏名(旧姓)」「郵便番号、住所」「電話番号」「卒業校と卒業回」以上の項目を明記の上、郵送またはFAXもしくはメールにて同窓会宛にお申し込みください。

広告募集 「雪びら」に広告を掲載希望の方は
 同窓会(Tel 089-941-4140)にご連絡ください。

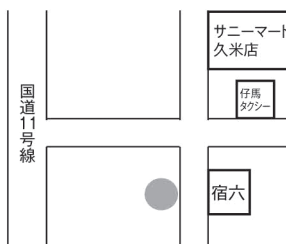


寿司きんぼし

〒790-0002
 松山市二番町1-10-1
 22ミツワビル1階
 TEL 089-950-4539



居宅介護支援事業所 バディ



介護・医療のこと、お気軽
 にご相談ください。

松山市北久米町667
 TEL 089-909-7880
 E-mail buddy@aurora.ocn.ne.jp
 営業日 月～金
 営業時間 8:30～17:30
 (24時間365日対応しております)

編集後記

今回発行の84号から同窓会会員の皆様へ紙面での郵送はなくなりました。行事などでの配布や、ホームページでご覧いただければと思います。慣れない作業でしたが、多くの方にご協力いただき発行の運びとなりました。
 ご寄稿ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。

「雪びら」編集委員 河上・吉川



「雪びら」は松山東雲学園HPでもご覧いただけます。

<https://www.shinonome.ac.jp>

